

三芳町
10の魅力
...

国際交流

International Exchange

住民の国際理解や国際感覚の醸成を図り、また子どもたちのグローバル社会への対応力を育むため、姉妹都市や東京2020大会ホストタウン相手国との交流を継続し、共に発展できるよう関係を強化しています。

To foster international understanding and cosmopolitan attitudes among the residents and to nurture in children the ability to respond to a global society, we aim to continue exchanges with our sister cities and other partner countries as a host town of the Tokyo 2020 Olympic Games, working to enhance our relations for mutual development.



異なる文化を
理解し、尊重できるまち

東京2020オリパラ

MIYOSHIオリビアド給食
マレーシアとオランダ料理を給食で提供。トレーニングキャンプに来日したオランダ女子柔道選手と一緒に給食を食べました



パラバドミントン体験会
マレーシアの国技である「バドミントン」のパラ競技体験会を開催しました

国際理解教育出前講座
マレーシアとオランダ大使館による出張講座。両国の歴史、社会、文化、自然等について学びました



ハラール料理講座
多民族国家マレーシアの主流であるイスラム教の教え「ハラール」を理解するために、マレーシアの多様な価値観や文化を学びました
※豚肉やアルコールを口にしない等、食事に関する教え



トレーニングキャンプの様子

**オランダ女子柔道チーム
ホストタウン**
町内にある女子柔道強豪校「淑徳大学」と連携して、オランダ柔道連盟と交渉を進めてきた結果、平成30年4月にオランダのホストタウンとして登録されました。
これを受け、令和3年8月に町民、町内各団体と連携して「2020三芳町ホストタウン交流推進実行委員会」を設立。ホストタウンとしての事業を町ぐるみで推進してきました。

オランダ

I♥MIYOSHI

令和元年
中学生海外派遣
(オランダ)
眞野 夏怜さん



海外に興味があったのと英語が好きだったので参加しました。初の海外だったので、すべてが新鮮で刺激的な経験でした。本当に行くことができ良かったです。英語はカタコトでしたが、何とか意思疎通できました。ホストファミリーはとても優しく楽しい人たちで、一緒に料理やサイクリングをしたり、風車やお花畑などへ連れて行ってもらったりしました。帰国後、派遣前までは自分だけの都合で考えてしまうことが多かったのですが、オランダでの経験を通して幅広く色々な視点で物事を捉えられるようになりました。将来は語学関係や海外に関わるような進路を考えています。英語に自信がなくても、少しでも興味があればチャレンジしてみたいと思いますし、自分のステップアップに確実に繋がると思うので、是非海外派遣に参加してみたいと思います。



眞野さん当時の写真



学術的、農業的及び文化的交流をはじめ多角的な連携を密接に図ることで都市型の農業遺産の重要性を世界に向けて発信し、共に保全活動を推進するために共同宣言を行いました。

中国「宣化区」
2019年(令和元年)10月、既に世界農業遺産に認定されている中国北京市郊外の宣化の「宣化のぶどう栽培の都市農業遺産」と「宣化・武蔵野」共同宣言を行い、都市型の農業の課題や今後の展開について意見交換を行いました。「武蔵野の落ち葉堆肥農法」と「宣化のぶどう栽培の都市農業遺産」は、お互いに都市に近い農業地域で、共通の課題をもっています。
こうした課題や解決策をお互いに共有し、



オーストラリア少年少女親善訪問団受け入れの様子(平成22年6月)

オーストラリア
ブリスベン市アスコット小学校の少年少女親善訪問団を受け入れ、交流しました。平成9年〜平成20年は同市へ中学生海外派遣を行いました。

オーストラリア



初姉妹都市
平成29年12月にマレーシアのペタリン・ジャヤ市(PJ市)と姉妹都市提携を結び、文化・芸術・教育など様々な分野で国際交流を続けています。平成29年11月にPJ市で行われた「PJフォークロアフェスティバル」では竹間沢の里神楽を披露し、町の伝統芸能を世界に発信しました。翌年には弦楽合奏団「アンサンブル凜」も出演し、その演奏は各国の聴衆から絶賛されました。平成30年度はみよしまつりで国際交流フェアを開催。PJ市のプロダンサーやミュージシャンが来町し、マレーシアの伝統的な民族舞踊を披露いただきました。また、中学生海外派遣を行っているアジア・パシフィック・スマートスクール

マレーシア「ペタリング・ジャヤ市」

(APS)と町立小中学校との教員相互交流を行い、国際理解教育と英語・外国語活動を推進しました。

共生社会ホストタウン

パラリンピアンとの交流を契機に、心のバリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりに取り組み、共生社会の実現を目指すホストタウンのことで。令和2年1月マレーシアのパラリンピック委員会に、同国パラリンピック選手団の事前キャンプを提案し、パラリンピック大会後の交流を含めた協定を締結。これまでの町の様々な取り組みが評価され、令和2年3月マレーシアの共生社会ホストタウンとして国より認定されました。共生社会の詳しい内容はP・23〜24をご覧ください。

